

【農林水産物・食品の広報】 農業・食品見本市AGRAにおける 日本パビリオン運営による日本産食品等プロモーション(スロベニア)

開催日: 令和4年8月20日-25日

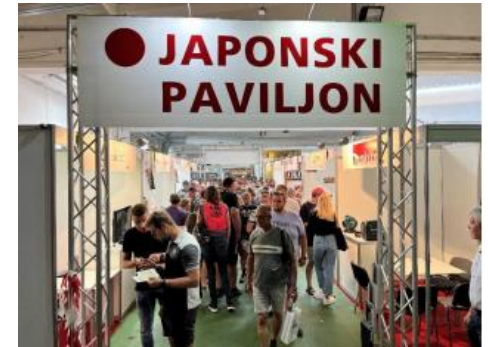
場 所: ゴルニャ・ラトゴナ市(スロベニア北東部)

主催: ムラ地方見本市(Pomurski sejem)、スロベニア農業省他

日本パビリオンの設置: 在スロベニア日本大使館、農林水産省

日本パビリオン出展企業: ミツカン、銀閣寺大西、チョーヤ梅酒、ロマンライフ、オタフクソース、テロワール・アンド・トラディション・ジャパン、ジャパンアグリプロダクツ、全農インターナショナル欧州、マルヤマ食品、マキタ、ARK、アキュレイトシステムズ(一部共同出展)

在スロベニア大使館



【概要】

- スロベニア北東部のゴルニャ・ラトゴナ市で開催された中・東欧地域で最大規模の国際農業・食品フェア(AGRA)にパートナー国として参加し、日本パビリオンを開設した。
- 日本パビリオンには12の日系企業が出展し、日本産農林水産物・食品等のプロモーションを行った。
- 展覧会場において、スロベニア政府、外交団、日本食関係者等を招いた日本食レセプションを実施した。その際、当地の日本食レストラン等5軒を日本産食材サポーター店として認定する式典を実施した。
- 来場者は、新型コロナウイルス流行以前と概ね同じ規模、前年比2倍の10万人(主催者公表)となった。AGRA事務局からは、パートナー国日本による日本パビリオンが力強い集客力を発揮したとの評価を受けた。
- 日本パビリオン、日本食レセプションにおいては、我が国の輸出重点品目(牛肉、調味料、醤油、茶、酒類)が注目を集め、和牛や梅酒などの品目では現地代理店・飲食店と成約に至るものがあるなど、日本産食品の輸出拡大の更なる可能性が感じられた。
- 英語日刊メディアのスロベニア通信、経済紙(Vecer紙、finance紙)や飲食業界紙が、日本パビリオンとそこで提供される日本産品に関する記事を掲載するなど、日本食に対する関心の高さがうかがえた。

